

項目	カテゴリー	No.	機能要求事項	回答
1 クラウドPBX	全般	1	クラウド型PBXとする	
	全般	2	クラウド設備は、震災等の大規模災害等で障害が発生した場合にも代替手段等で通信を確保できる設計とすること	
	全般	3	ライセンス数(モバイル端末ID数)の増減は1ヶ月単位で実施できること	
	全般	4	今回の仕様で運用開始後に拠点追加が必要になった場合、順次導入できること	
	全般	5	現在、各学校で利用中の外線電話番号を継続して利用できること	
	全般	6	クラウドPBXで利用するモバイル通信方式はVoLTEとする パケット通信を利用したVoIPサービスは不可とする	
	全般	7	クラウドPBXサーバーから市役所設備までの回線は閉域で帯域確保型の安定した設計とすることインターネットは経由しないこと	
	全般	8	クラウドPBXで利用するモバイル端末は、スマートフォン、フィーチャーフォンどちらも利用できること	
	電話機能	9	モバイル端末で各学校の外線番号での発着信ができること	
	電話機能	10	内外線着信グループを設定でき、1ユーザーが複数のグループに所属することができること	
	電話機能	11	外線着信時、着信グループの端末が一斉鳴動、順次鳴動、循環(持ち回り)の着信パターンが選択できること	
	電話機能	12	モバイル端末、IP固定電話機からの発信において各学校の代表番号、部門代表(OAB～J番号)が相手方に表示されること	
	電話機能	13	休日夜間等は外線電話番号ごとに時間帯・曜日のスケジュールをあらかじめ設定して、外線着信を転送もしくはメッセージ応答できること	
	電話機能	14	OABJ外線着信を内線転送ができること	
	電話機能	15	モバイル端末番号(070,080,090)への着信をグループ着信できること	
	電話機能	16	モバイル端末間で相互に着信を代理応答できること	
	電話機能	17	外線が着信グループに着信してグループ内で一定時間応答不可の場合、別のグループに自動転送できること	
	電話機能	18	上項までの電話機能に関して、管理者がWEB管理ツール等で随時設定、設定変更が可能で設定内容が即時反映されること	
	電話機能	19	モバイル端末で無料の内線電話ができること	
	電話機能	20	転送された通話をさらに別端末に転送できること	
	管理者	21	管理者権限を権限内容によって段階的に付与できること、またそれぞれ複数名に付与できること。	
	保守運用	22	クラウドPBX保守運用窓口は、24時間365日体制で受付できること	

2 モバイル端末	モバイル	23	モバイル端末は防水機能を有すること	
	モバイル	24	端末は、生体認証又は暗証番号等を利用したロック等のセキュリティ機能を有すること	
	モバイル	25	モバイル端末からの通話及びデータ通信は、国内において4Gまたは5Gでの接続が可能であること	
	モバイル	26	モバイル端末は、Android14以上又はiOS26以上のOSがインストールされていること。	
	モバイル	27	モバイル端末はデザリングが可能であること	
	モバイル	28	モバイル端末の携帯番号での発信は定額もしくは実質定額の料金プランであること	
	モバイル	29	モバイル端末のデータ通信については、1台あたり5GB/月以上含まれているプランとすること	
	モバイル	30	料金プランについては、運用開始後に使用状況の調査を行い、費用適正化のためのプラン変更を可能とすること	
	モバイル	31	モバイル端末導入にあたり機器管理のためのMDM(Mobile Device Management)サービスを導入し、必要な支援を行うこと	
	モバイル	32	本市管理者がポータルサイト等で契約回線の内容を確認できること	
	モバイル	33	電話帳機能を有し、管理者が作成する電話帳を配信できること	
	モバイル	34	モバイル端末はレンタルでの提供も選択できること	
	モバイル	35	保守窓口は日中365日受付とし、機器故障時には、代替端末先出し、受領後故障端末センドバック(先出センドバック)の対応ができること	
	モバイル	36	モバイル端末紛失・盗難時には24時間365日体制でリモートロック(遠隔ロック)、リモートワイプ(遠隔消去)ができること	
	モバイル	37	電波が入りにくい本市の施設について、市と協議のうえ、速やかに電波の改善対策を実施すること	
	モバイル	38	MDMソフトウェアを調達し、各端末に導入すること。	
	モバイル	39	導入するモバイル端末全台にキitting作業を実施すること	
	モバイル	40	スマートフォンケース(ネックストラップを装着できるものに限る)を調達すること	
	モバイル	41	充電スタンドを調達すること	
	モバイル	42	スマートフォンの画面に保護フィルムを貼付すること	
モバイル	43	スマートフォン本体に学校名・電話番号・管理番号のシールを貼付すること		
モバイル	44	ユーザーから任意のタイミングで内線がつかないようにできること		
モバイル	45	圏外、電源OFFの場合等、無条件での転送や自動音声ガイダンスが流れる設定ができること		
モバイル	46	モバイル端末の番号での発信について、制限可能であること		

3 固定電話回線	固定電話サービス	47	各学校で通常利用中の電話回線と電話番号(06-)を同番号で市役所に一元化、各学校の電話回線敷設は廃止とすること	
	固定電話サービス	48	現在利用中のオプションサービスは原則継続利用できること ※移行できる該当サービスがない場合は、代替サービスの提案も可とする	
	固定電話サービス	49	電話回線は高品質の光電話サービスが必須で、パケット通信を利用したサービスは不可とする	
	固定電話サービス	50	各学校のFAX、災害時用電話等については現状の利用状況を踏まえ、移行後の構成、運用を提案すること	
4 その他	その他	51	外線通話すべてを録音でき、録音内容を一定期間保存できること	
	その他	52	外線着信時、通話録音していることをあらかじめアナウンスしてから接続できること	
	その他	53	外線番号ごとに業務時間外における外線着信に対し、メッセージを流す設定ができること	
	その他	54	クラウドPBXの設定内容を随時変更できる、またはWEB上やアプリにより自由に設定できること	
	その他	55	クラウドPBXやひかり電話障害時でも、かかって来た電話に対応する方法を提案すること	